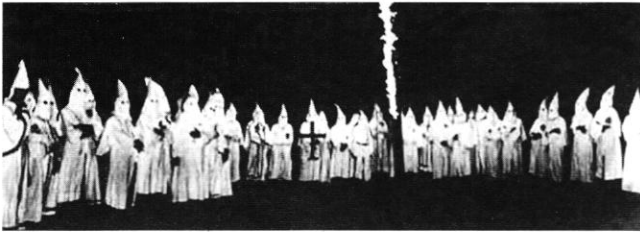


ふてしこ

2

'19
No.279

巡回通信誌



クー クラックス クラン 「Ku Klux Klan (KKK団)」

名誉院長 西 田 敬

マスクと云えば抗インフルエンザのシンボルとも云える定番のスタイル。然し、由来を尋ねれば、何の茶番か?とも思われる。抑々、Masque(古語、宮廷仮面劇:道化役者)からの転用派生語。見てくれが今一。マスク集団が徒党を組めば、如何なる連中の決起集会かと危ぶまれる。見た目で云えば、南北戦争時(米国)に、巻き起こった反社会的な秘密結社のKu Klux Klanが名高い。1915年に米国で結成され、カトリック教徒、ユダヤ人、黒人の排斥を主張した。現代の日本では、見かけでは、遂に組合結成に至ったコンビニ強盗の集団かとも勘違いされる。

中世ヨーロッパを我物顔にのし歩き、それなりに一世を風靡したマスク姿はペスト医者(Medico de La Peste)。的中する筈もない予言を喚き散らして、名を売った

ノストラダムス Nostradamus(1503-1566)はその末裔。喩え、ペスト医者を標榜しても、ペストを治す事なんか断じてない。抗生剤も無い時代、治せる訳もない。末期の患者の枕頭で御託宣を述べる、或は引導を渡すのが精々。鳥の嘴にも似たマスクには芳香剤を詰め込み、畢竟、己自身にとっての臭い消しに過ぎぬ。語路が似て居るからと云って、イタリア料理店でMedico de La Peste!などと叫んで御覧。自慢の Pasta料理を、頭からぶっ掛けられる懼れもあり、御用心、好漢自重せよ。

現在、世界の覇者を自負するアメリカはモンロー主義(Monroeism)の国。即ち、欧州には口を挟まないから、欧州列強もアメリカには構うな。主張するように、元来は排他的な一面を持つ国である。抑々、英国国教に背いてMayflower号で新大陸へ逃れ出た清教徒Pirigim Fathersの末孫。彼らの拠点都市、PlymouthはMassachusetts州の州都。New Englandでは最古の町で、保守派の街。その末裔が保守的な、反カソリックをはじめ、差別主義などの反骨精神を示すのも、宣なる哉。祖国に背いてまで、己が信教を貫こうとする、PirigimFathers譲りの反骨精神には筋金が入っとる。

